

平成 30 年度 丹生高等学校 学校評価書

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
重点目標 1 中高一貫教育	活力と発展に貢献できる資質や能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ課題研究で協力し、主体的に研究できたと回答した生徒は 82.4%であった。 ● 高1生では個人研究に向けて技能の向上を図る講座を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域研究の活動をカリキュラムに組み入れる。 ● テーマ設定や研究発表などの場における大学教員等の支援により、研究内容を深化する。
	学校に拡大した中高一貫教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者の 88.8%が中高一貫による人材育成に成果を挙げていると感じている。 ● 地元の NPO や自治体と連携する機会を増やし、協働して問題解決する体験が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連携クラス卒業生を出身中学校に積極的に派遣し、連携クラスの優位性を紹介する。 ● 見学や体験活動を設け、問題意識を喚起させる。
重点目標 2 教育課程・学習指導	授業力向上チームを核として、学級経営力を基礎とした授業改善に全校体制で取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標の 75%には届かなかったが、授業をおおむね理解していると回答した生徒は 69.9%で、昨年比 7.2%増の改善がみられた。 ● 6月と11月に開催した授業研究会では、2/3以上の教員が ICT を活用した授業を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT を利用した授業教材を教科内で共有化を進める。 ● 教員の先進校を視察する機会を設け、主体的・対話的な授業をさらに研究する。
	冊子「NYU LIFE」を活用し、計画的な学習習慣を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各教科の宿題や課題を、提出期日までにおおむね提出できたと回答した生徒は 84.6%で、目標の 75%以上を上回ることができた。 ● 「NYU LIFE」により学習習慣が身につけていると回答した生徒は 55.1%であり、冊子の内容や活用法の指導などが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学年や学級での取り組み目標を設定するなど、学級経営力の向上に取り組む。 ● 家庭で授業の予習や復習ができるように、ICT を利用した授業展開を研究する。
重点目標 3 生徒指導	校内での携帯電話のルールの周知を図り、自己管理能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話の校内ルールを守って生活することができたと回答した生徒が 85.8%であり、ルールが周知・徹底できた。 ● 本校の携帯電話の指導について、適切であると回答した保護者は 88.8%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新入生に対する入学時の指導の充実に取り組み、規範意識の向上に努める。 ● 情報モラルに関する注意喚起情報を定期的に発信し、日常的に注意を促す。
	部長・キャプテン会議の内容を充実し、部活動の主体的で自律的な運営方法を指導する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 部活動加入者数 318 人、加入率 84% (1年加入率 93%) ● 主体的・自律的に部活動に取り組んだと回答した生徒は 82.4%であった。 ● 学習と部活動の両立が図られていると回答した生徒は 80.6%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 部長・キャプテン会議で各種講習会を企画し、自発的な活動に自信を持たせる。 ● 平日1日、休日1日の部活動休養日の設定について検討する。

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
重点目標4 進路指導	主体的に自らの進路を考え、行動する意欲や態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 充実した進路指導であると答えた生徒は86.4%であった。 ● 大学や職場見学に参加したと回答した生徒は75.7%であった。 ● 本校では進路情報の収集や進路体験学習が整っていると回答した保護者は90.4%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 進路意識を高めさせるため、進路講演会を新たに開催する。 ● 大学との連携を深め、進学意欲を喚起する。 ● 新大学入試制度に向けての情報を積極的に発信していく。
	研修会や各種資料を改善し、進路情報の周知に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本校の保護者に対する進路情報の提供に対する満足度は89.2%であり、目標の80%を上回った。 ● 子どもの進路に関する本校からの情報に不足を感じないと回答した保護者は74.3%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 進路講演会の実施期日ができるだけ早く保護者に連絡し、保護者の進路意識の向上と、参加者の増加に努める。
重点目標5 保健管理・教育相談	年間を通して心身ともに健康的に生活する意識や態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 心身の健康を意識しながら生活することができていると回答した生徒は87.8%であり、目標の80%を上回った。 ● 教室の整理整頓や、清掃活動に積極的に取り組んでいると回答した生徒は89.6%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 心の健康、献血、歯科衛生に関する講座を実施し、生徒や保護者への情報提供を行う。 ● 委員会活動の定期的な活動を通して、環境美化の維持・向上を図る。
	危機管理マニュアルを改訂し、安全で安心な教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校安全計画を見直しにより、安心安全な教育環境であると答えた生徒は、82.0%となった。 ● 事例の研究、情報の収集を行い、整備を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校安全計画に基づいた運営と、安全計画の点検を進める。 ● 外部の専門家の助言を受け、見直しを継続的に行う。
重点目標6 読書指導・情報管理	図書館書架の配置の刷新や、行事運営等の工夫を通して貸出冊数・貸出者数を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成30年12月末現在の貸出冊数は1369冊で、貸出者数は212人である。 ● インターネットの発達により、冊数だけでは情報量の把握が難しくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 読書機会の増加と読書の魅力についてのPRを強化する。 ● 電子書籍を含めた読書量の把握に努める。
	HPの構成や内容を見直し、より魅力的な学校情報の発信に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームページを工夫し、より魅力的な情報を発信していると回答している生徒が75.4%であった。 ● 中学生（特に2年生）が本校について調査する時に、わかりやすいコンテンツを見つけにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● QRコードを配布物に付記し、ホームページへのアクセスを増加させる。 ● 「受験生へ」などのリンクを設け、中学生の進路学習に役立つコンテンツにする。